

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	鳥取県	事業実施主体	鳥取県、日南町	地域再生計画名	日南の豊かな森林の恵みを活かしたまちづくり計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	鳥取県西部総合事務所 日野振興センター 日野振興局 農林業振興課長 若松 理恵、日南町 建設課 財原 積		

	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数	達成数					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	森林施業面積の増加	200ha	H25	210ha	H29	293ha	220ha	H31	243ha	○	2	2	最終目標値220haに対して、約110%増の243haの実績（H27～H31）となり、最終目標値は達成できた。森林施業別実績は、間伐229haと全体の9割を占め、その他の施業は除伐7ha、枝打7haの実績であった。
	指標 2	森林区域から林業施設へのアクセス時間の短縮	40分	H25	40分	H29	40分	30分	H31	30分	○	2	2	概ね計画どおり事業を実施できたため、目標は達成されているものと考えられる。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1													
	指標 2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（H29）	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）		0.40 km	0.15 km	0.39 km	町道内方線の改良を計画どおり事業を実施することができた。これにより森林区域から林業施設へのアクセスがスムーズになり、アクセス時間の短縮と森林施業の増加が図られた。								
	林道整備事業（整備延長）		2.83 km	1.97 km	2.92 km	林道窓山線及び内方線の開設を概ね計画どおり実施することができた。これによりアクセス時間の短縮が図られたほか、森林施業も増加傾向が見られ、今後も開設効果を発揮できるものと期待している。								
その他の事業	農山漁村地域整備交付金事業		森林基幹道窓山線新屋工区の整備を実施			農山漁村地域整備交付金事業は、本計画期間（H27～31）に1,750mの林道整備を計画しており、現時点で1,150mが完成している。								
	森林環境保全整備林道事業		森林基幹道窓山線新屋工区、多里工区の整備を実施			今後は、森林環境保全整備林道事業を活用して引き続き林道開設を進め、森林区域から林業施設へのアクセス時間の短縮を図っていきたい。								
	造林事業		森林の整備に要する経費に支援			利用区域内には町有林や分収造林地等のまとまった林地があることから、林業経営の集約化や持続的な森林資源の利活用モデルとするため、積極的に森林整備を図っていきたい。								
	間伐材搬出等事業		間伐材を市場等へ出荷・販売する経費に支援			日南町には規模の大きな木材加工施設があり木材需要が多いことから、間伐材の搬出を促進して地域材による原木の安定供給を図っていきたい。								
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	令和3年12月14日に開催した鳥取県森林審議会において、最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。													
⑤事後評価の公表方法	鳥取県及び日南町建設課のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に実施し、森林区域と林業施設間のアクセスを改善することで、本区域内の豊富な森林資源を計画的に管理することが容易となり、伐採から搬出までの経費の軽減が図られるとともに林業の労働力不足を補う機械化を導入することで施業の効率化が期待される。本区域の森林整備により生産された木材は町内の林業施設へ安定的に搬出されており、素材生産量の増加が見込まれ森林整備の効果が概ね発現できると考えている。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備を進め、森林施業面積の増加等の目標も達成できた。造林事業等を引き続き活用して適正な森林管理を行い、豊かな森林資源が持続的に有効活用され地域の活性化のモデルとなるように事業を推進していく。													